

2026年度 国際言語文化研究所 萌芽的プロジェクト研究助成プログラム 募集要項

1. 国際言語文化研究所萌芽的プロジェクト研究助成プログラムの目的・性格

本プロジェクト研究は、学内研究者の共同研究であり、今後の研究所の発展に寄与するような研究プロジェクトに対して支援し、強化するための研究助成プログラムである。学内公募にて受付け、研究計画や研究成果等の実現可能性について審査を行う。また、本プロジェクト研究は、次年度以降に、科研費をはじめとする学外研究費の導入を図り、研究課題が発展・向上してゆく可能性のある萌芽期にあたる研究に対しての研究助成プログラムとして位置づける。

2. 募集内容

| | |
|-----------------------|---|
| 名称 | 国際言語文化研究所 萌芽的プロジェクト研究 |
| 助成対象 | 本研究助成プログラムは、以下の3条件を満たす研究を対象とする <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来、研究所における中核的研究としての発展が見込まれる研究 ・ 研究者が研究会活動を中心とするグループで取り組む研究 ・ 次年度の学内研究助成・学外研究助成への申請を予定している研究 |
| 対象分野 | 言語、文化、歴史の分野 |
| 助成規模 | 上限20万円（採択予定数5件） |
| 申請期間 | 2026年4月1日（水）9:00～5月8日（金）12:00 |
| 助成対象期間 | 2026年6月上旬～2027年3月（予算執行は2月末までを目処に） |
| 申請資格 (2025年4月1日現在) | <p>研究代表者、以下のいずれかの資格を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆<u>本学専任教員</u>※（有期限の任用者を含む） ※本学の教授、准教授、任期制教員（教授・准教授・講師・助教）、特任助教、初任助教、特別契約教員（教授・准教授）、特別招聘教員（教授・准教授）、特別招聘研究教員（教授・准教授）、研究教員（教授・准教授・助教） ◆<u>研究職員</u>（専門研究員・研究員・初任研究員） <p>※同一年度の募集において、研究代表者として応募できる研究課題数は1課題のみとする。過年度の採択者が異なる研究課題で申請することは可。</p> <p>※萌芽的研究を対象とする本助成の趣旨に鑑み、過年度までに3年以上に亘って本助成を受けた研究代表者は、原則として申請資格を有さないものとする。</p> |
| | <p>副代表者は、以下のいずれかの資格を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇<u>本学専任教員</u>※（有期限の任用者を含む）※上記のとおり ◇<u>研究職員</u>（専門研究員・研究員・初任研究員） ◇<u>国際言語文化研究所所属の客員協力研究員</u> |
| 申請書 | <p>国際言語文化研究所ホームページより「2026年度国際言語文化研究所 萌芽的プロジェクト研究助成プログラム 申請書」をダウンロードし、記入の上、提出すること。</p> <p>URL : https://www.ritsumeai.ac.jp/research/iilcs/project/houga.html/</p> |
| 申請書提出先 | <p>申請書は、word形式もしくはpdf形式で国際言語文化研究所事務局 (genbun@st.ritsumeai.ac.jp) にメールで提出すること。</p> |

3. 審査にあたって

(1) 審査委員会

研究所運営委員にて構成される審査委員会が、採否を決定する。採択結果は衣笠総合研究機構に報告する。

(2) 審査は、下記のポイントを中心に評価を行った上で、総合評価する。

①研究目的、研究の必要性

- ・当該研究分野においての成果が期待できる、または、今後の展開が見込まれる研究課題であるか。
- ・研究課題を設定する視点に、独創性が認められるか。
- ・研究目的が具体的かつ明確に示されているか。

②研究計画・方法

- ・研究目的を達成するため、研究計画は十分練られたものになっているか。

③本プログラムを契機とする研究活動の展開・方向性

- ・本単年度ではなく、継続的に行われるプロジェクトであるか。
- ・萌芽的プロジェクト研究助成である趣旨を理解し、科研費・学外競争的研究費の申請計画など、研究を発展させていく計画を立案しているか。
- ・研究成果を広く発信する方法等を計画しているか。

④下記についてはプラス評価する。

- ・研究者学術情報データベース(研究者DB)の入力状況。

4. 研究成果について

- ・国際言語文化研究所と関連した活動であることを明らかにした上で、研究会・ワークショップ等の研究活動を行うこと。
- ・研究所の活動としても記録する必要があるため、出来る限り研究期間終了後の翌年度の研究所紀要『立命館言語文化研究』にて、成果を報告することが望ましい。

5. 留意事項

- ・助成対象期間が終了後、萌芽的プロジェクト研究助成プログラム報告書を**2027年4月30日(金)までに必ず提出すること。**

6. 本件についてのお問い合わせ

国際言語文化研究所事務局

内線：511-2651 外線：075-465-8225

E-mail：genbun@st.ritsumei.ac.jp